

月 日 () 名前 _____

1 教科書6ページの□1を声に出して読みましょう。

(1) できたジュースの量を求めるための、式と求め方を考えました。次の□にあてはまる数をかきましょう。

(式) $\boxed{0.038} + \boxed{0.19}$

<求め方>

0.038は、0.001が $\boxed{38}$ 個、

0.19は、0.001が $\boxed{190}$ 個だから、

0.001が $(38+190)$ 個になります。

(2) できたジュースの量を筆算で求めましょう。

$$\begin{array}{r} 0.038 \\ + 0.19 \\ \hline 0.228 \end{array}$$

(3) 教科書7ページの残りのシロップの量の求め方を見て、できたジュースの量の求め方と、似ているところを探しましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

小数点から下のけた数がちがうときも、位をそろえると、たし算やひき算をすることができます。

3 教科書7ページの△2の問題に取り組みましょう。

① $0.228 + 0.12 = 0.348$
0.348 L

② $0.228 - 0.12 = 0.108$
0.108 L

「整数と小数」

月 日 () 名前

1 教科書 10 ページの飛行機の絵を見ましょう。全長は 56.72mあります。

(1) 56.72 は、どんな数ですか。次の□にあてはまる数をかきましょう。

10 を 個、1 を 個、
 0.1 を 個、0.01 を 個
 あわせた数

0.01 を
 個
 集めた数

(2) 整数や小数の関係について、次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

整数や小数では、数字のかかれた位置で (位) がきまります。
 となりあう位との間には、(10) 倍、($\frac{1}{10}$) の関係があります。

2 教科書 11 ページの①を声に出して読みましょう。

(1) 56.72 を 10 倍すると、いくつになりますか。

(2) 56.72 の $\frac{1}{10}$ は、いくつになりますか。

3 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

10 倍すると、小数点が右に 1 けた移ります。 $\frac{1}{10}$ すると、小数点が左に 1 けた移ります。

4 教科書 11 ページの△②の問題に取り組みましょう。

(1) 60.12 を 10 倍すると 、 $\frac{1}{10}$ すると 。

(2) 16.92 を 10 倍すると 、 $\frac{1}{10}$ すると 。

月 日 () 名前 _____

1 教科書 12 ページ 3 を声に出して読みましょう。

(1) 42.195 を 10 倍、100 倍、1000 倍したときの数を求めましょう。□にあてはまる数をかきましょう。

10 倍したとき

$42.195 \times 10 =$

421.95

100 倍したとき

$42.195 \times 100 =$

4219.5

1000 倍したとき

$42.195 \times 1000 =$

42195

(2) (1) で求めた数を順に調べると、きまりが見つかりました。どのようなきまりがあるのかを考えましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

整数や小数を、10 倍、100 倍、1000 倍すると、小数点は、右にそれぞれ 1 けた、2 けた、3 けた移ります。

3 教科書 12 ページの 4 5 6 の問題に取り組みましょう。

4 ① 2.367	② 0.082	③ 0.5																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(10倍)</td><td style="text-align: center;">23.67</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(100倍)</td><td style="text-align: center;">236.7</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(1000倍)</td><td style="text-align: center;">2367</td></tr> </table>	(10倍)	23.67	(100倍)	236.7	(1000倍)	2367	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(10倍)</td><td style="text-align: center;">0.82</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(100倍)</td><td style="text-align: center;">8.2</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(1000倍)</td><td style="text-align: center;">82</td></tr> </table>	(10倍)	0.82	(100倍)	8.2	(1000倍)	82	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(10倍)</td><td style="text-align: center;">5</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(100倍)</td><td style="text-align: center;">50</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 5px;">(1000倍)</td><td style="text-align: center;">500</td></tr> </table>	(10倍)	5	(100倍)	50	(1000倍)	500
(10倍)	23.67																			
(100倍)	236.7																			
(1000倍)	2367																			
(10倍)	0.82																			
(100倍)	8.2																			
(1000倍)	82																			
(10倍)	5																			
(100倍)	50																			
(1000倍)	500																			

5 ① 57.1 (10) 倍 ② 5710 (1000) 倍 ③ 571 (100) 倍

6 ① $0.25 \times 10 =$ 2.5 ② $7.93 \times 100 =$ 793

③ $0.14 \times 1000 =$ 140

月 日 () 名前 _____

1 教科書 13 ページ 7 を声に出して読みましょう。

(1) 108.9 を $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にしたときの数を求めましょう。□にあてはまる数をかきましょう。

$\frac{1}{10}$ にしたとき $108.9 \div 10 =$ 10.89

$\frac{1}{100}$ にしたとき $108.9 \div 100 =$ 1.089

$\frac{1}{1000}$ にしたとき $108.9 \div 1000 =$ 0.1089

(2) (1) で求めた数を順に調べると、きまりが見つかりました。どのようなきまりがあるのかを考えましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

{

整数や小数を、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にすると、小数点は、左に

それぞれ 1 けた、2 けた、3 けた ^う移ります。

}

3 教科書 13 ページの 8 9 10 の問題に取り組みましょう。

8 ① 256.4	② 40.1	③ 70
$(\frac{1}{10})$ 25.64	$(\frac{1}{10})$ 4.01	$(\frac{1}{10})$ 7
$(\frac{1}{100})$ 2.564	$(\frac{1}{100})$ 0.401	$(\frac{1}{100})$ 0.7
$(\frac{1}{1000})$ 0.2564	$(\frac{1}{1000})$ 0.0401	$(\frac{1}{1000})$ 0.07

9 ① 2.93 ($\frac{1}{10}$) ② 0.0293 ($\frac{1}{1000}$) ③ 0.293 ($\frac{1}{100}$)

10 ① $6.8 \div 10 =$ 0.68 ② $32.8 \div 100 =$ 0.328 ③ $0.14 \div 1000 =$ 0.0415

「整数と小数」

月 日 () 名前 _____

- 1 教科書 14 ページの $\triangle 1$ $\triangle 2$ $\triangle 3$ $\triangle 4$ の問題に取り組みましょう。
 それぞれの問題を声に出して読んでから取り組みましょう。

$\triangle 1$ ①

(10倍)	43.84
(100倍)	438.4
(1000倍)	4384

②

$(\frac{1}{10})$	0.4384
$(\frac{1}{100})$	0.04384
$(\frac{1}{1000})$	0.004384

$\triangle 2$ ① 10倍

② $\frac{1}{100}$

$\triangle 3$

$$56.6 \times 100 = 5660$$

56.6m

$\triangle 4$

$$4.312$$

- 2 整数と小数の学習をふりかえりましょう。教科書 15 ページの「わかったこと」や「できるようになったこと」、「もっとやってみたいこと」などをかきましょう。ひなたさんやだいちさんのふりかえりを参考にしましょう。

「体積」

月 日 () 名前 _____

1 教科書 16 ページの絵を見て、問題を声に出して読みましょう。

(1) 教科書 16 ページの㊸と㊹の箱のたて、横、高さの和を求めましょう。

㊸の箱 式 $3 + 4 + 2$

答え 9

㊹の箱 式 $3 + 3 + 3$

答え 9

(2) 箱（直方体や立方体）のたて、横、高さの和が同じときは、かさも同じといえますか。どちらかに○をつけ、予想してみましょう。

(かさも同じ ・ かさはちがう)

(3) あてはまる言葉を () の中に入れましょう。

㊸と㊹の箱のかさをくらべるために、まず、重ねてくらべます。重ねてもわからないときは、面積と同じように、(教) で表すことができれば、くらべることができます。

2 教科書 17 ページの㊸と㊹のかさの表し方を調べます。

1 辺が 1 cm の立方体をならべると何個あるかを求めましょう。

㊸ 12 個が 2 だんで 24 個 ㊹ 9 個が 3 だんで 27 個

3 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

かさのことを^{たいせき}体積といいます。体積は、1 辺が 1 cm の立方体が何個分あるかで表します。

1 辺が 1 cm の立方体の体積を 1 cm^3 とかき、「1 ^{りっぽう}立方センチメートル」とよみます。 cm^3 は体積の単位です。

4 ㊸の体積は 24 cm^3 、㊹の体積は 27 cm^3 です。